

江東区子育て世帯生活実態調査項目概要（案）

1 小学校5年生児童及び中学校3年生生徒本人対象調査

〔前回調査からの変更概要〕

- ・ 条例制定に向け「こどもの権利」に関する認識を問う設問を追加
- ・ 設問及び選択肢を時勢に合わせて修正

※下線部が前回からの変更点（以下、同じ）

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	家族構成	基本情報
普段の生活について	朝ご飯、夕飯の摂取状況と孤食の状況	食事や治療、与えられる物について所得による差がないかを分析
	歯みがきやむし歯の状況	
	放課後の過ごし方	
	持ち物や経験のはく奪状況	
	親との関わりの状況	
学校や勉強について	授業の理解度や成績の状況	学習状況の達成度や学習を受ける機会について所得による差がないかを分析
	進学希望と、現実の進学の想定、異なる場合の理由	
	塾や習い事、クラブ活動の状況	
	無料の学習機会や放課後の居場所の利用希望有無	
自分自身について	自己肯定感	自信や将来への希望について所得による差がないかを分析
	夢や希望の有無	
その他	「こどもの権利」に関する認識	条例制定に向け権利に関する認識を把握

2 小学校5年生児童及び中学校3年生生徒保護者対象調査

〔前回調査からの変更概要〕

- ・ 条例制定に向け「こどもの権利」に関する認識を問う設問を追加
- ・ 設問及び選択肢を時勢に合わせて修正

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	家族構成、居住形態	基本情報
こどもの生活について	健康状態やむし歯の状況	食事や治療、与えられる物について所得による差がないかを分析
	持ち物や経験のはく奪状況	
	こどもの悩みや将来の夢	
こどもの学校・教育について	授業の理解度や成績の状況、不登校の経験	学習状況の達成度や学習を受ける機会について所得による差がないかを分析
	進学希望、教育費で負担に感じるもの	
父母について	あて名のこどもとの続柄	保護者の最終学歴や生育経験（両親の離婚経験等）と所得の差の関係を分析
	地域での付き合い、相談できる人の有無	
	健康状態、体調不良時こどもの世話を頼める人の有無	
	父母の最終学歴や、過去の生育経験	

主な設問項目		分析の視点
仕事の状況について	就業状況、勤務形態、帰宅時間	保護者の就労状況、就労意向を把握
	働いていない場合の今後の勤務希望と条件	
家計の状況について	進学のための積立や学資保険の加入状況	世帯の経済状況について分析（主として貧困層であるかの分析を行う項目）
	経済的理由で買えない・払えない経験、通院できない経験	
	世帯の経済状況（主観）	
	世帯収入	
	経済的支援の制度利用状況	
その他	「こどもの権利」についての認識	条例制定に向け権利についての認識を把握

3 小学生及び中学生の子を持つ児童育成手当受給中の保護者

〔前回調査からの変更概要〕

- ・ 条例制定に向け「こどもの権利」に関する認識を問う設問を追加
- ・ 設問及び選択肢を時勢に合わせて修正

主な設問項目		分析の視点
対象者の属性	性別、年齢、家族構成 など	基本情報
仕事の状況について	就業状況、勤務形態、転職意向	保護者の就労状況、就労意向を把握
	働いていない場合の今後の勤務希望と条件	
こどもの生活について	健康状態やむし歯の状況	食事や治療、与えられる物の実態を把握
	持ち物や経験のはく奪状況	
こどもの学校・教育について	授業の理解度や成績の状況、不登校の経験	学習状況の達成度や学習を受ける機会、不登校経験の実態を把握
	放課後の過ごし方や勉強時間	
家計の状況について	進学のための積立や学資保険の加入状況	世帯の家計・収入状況について把握
	養育費、就学援助費の状況	
公的サポートについて	現在の悩みごと、相談相手有無	主としてひとり親家庭の支援ニーズを把握
	交流機会の参加意向	
	情報入手手段 各ひとり親施策の利用状況、利用意向、満足度等	
その他	「こどもの権利」についての認識	条例制定に向け権利についての認識を把握